技術基準適合認定品

TAKACOM

フルデジタル留守番電話

リモートホン AT-D300

取扱説明書

必ずお読みください 2

お使いになる前に 4

各部の名前とはたらき 5

留守番電話の準備をする 6
応答メッセージを録音する 6
時計を合わせる 7

留守セットをする 8
留守セツトをする 8
留守セットを解除する 8

用件を再生する 10

リモコン再生をする 11
暗証番号を登録する 11
リモコン再生をする 12

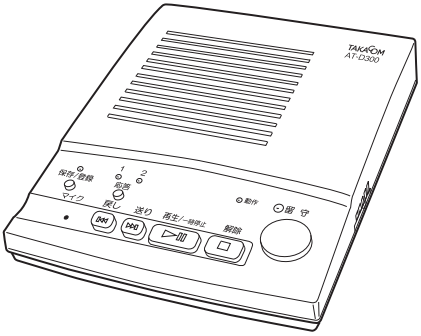
機能の設定を変える 14

電話回線／電源を接続する 16

操作早見表 17

故障とお考えになる前に 18

主な仕様 19



このたびは、「リモートホン AT-D300」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとも、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

必ずお読みください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク表示について

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

⚠ 警告　安全にお使いいただくために必ずお守りください

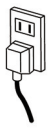
● 電源アダプタの抜き差しは電源アダプタ本体を持って行ってください。
ぬれた手で電源アダプタを抜き・差ししないでください。
感電するおそれがあります。

● 電源アダプタは、付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対に使用しないでください。
火災などの原因になります。

● 電源アダプタは、AC100V の電源コンセント以外には絶対に接続しないでください。火災や故障の原因になります。
使用中に暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。

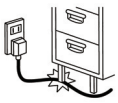
● 雷が鳴り出したら、本機や電源アダプタには触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

● 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから、根元まで確実に電源コンセントに差し込んでください。また、定期的に電源アダプタをコンセントから抜いて、点検・清掃をしてください。
ほこりにより火災や感電の原因になります。



● 本機を分解したり、改造しないでください。
感電するおそれがあります。
分解、改造された機器は、修理に応じられない場合があります。

● 電源アダプタコードの上に重いものを置いたり、無理に曲げたり、引っ張ったりすることは、やめてください。コードを傷つけ、火災などの原因になります。



● 床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因になります。

⚠ 注意　安全にお使いいただくために必ずお守りください

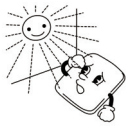
●不安定なところや落としやすいところに置かないでください。
落下してけがの原因になります。

●長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になることがあります。

STOP お願い　故障の原因になることがあるため必ずお守りください

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。

●直射日光があたるところ、暖房設備・ボイラーなどのそばで温度の高くなるところ、湿気の多いところ、屋外などに置かないでください。



●ぬれた手で本機を操作しないでください。

●製氷倉庫など、特に温度が下がるところに置かないでください。

●ベンジン・シンナー・アルコールなどの薬品でふかないでください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼってから汚れをふき取り、やわらかい布でカラぶきしてください。

●チリやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生するところに置かないでください。

●水や薬品などが、かかるおそれのあるところに置かないでください。

●テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。

●この装置は、クラスＢ情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　ＶＣＣＩ－Ｂ

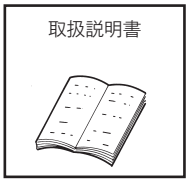
●本機の仕様は、国内向けになっていますので、海外ではご利用できません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

●正常な使用状態で本機に故障が生じた場合、当社は本機の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
ただし、本機の故障・誤動作または不具合により、録音・通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お使いになる前に

■セットの確認

● 次のものがそろっていることをお確かめください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、販売店または最寄の当社営業所へご連絡ください。当社営業所につきましては、当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。



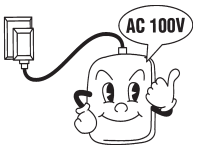
■取り付けについて

● 共同電話、公衆電話、地域集団電話にはご使用になれません。
● モジュラー式電話コンセントがついているときは、付属のモジュラーコードを差し込むだけでお使いになれます。（→P 16）

■電源について

電源は・・・

● 電源アダプタは、いつもコンセントに接続してお使いください。
● はずれたり、停電のときは、本機は使用できません。



停電したときは

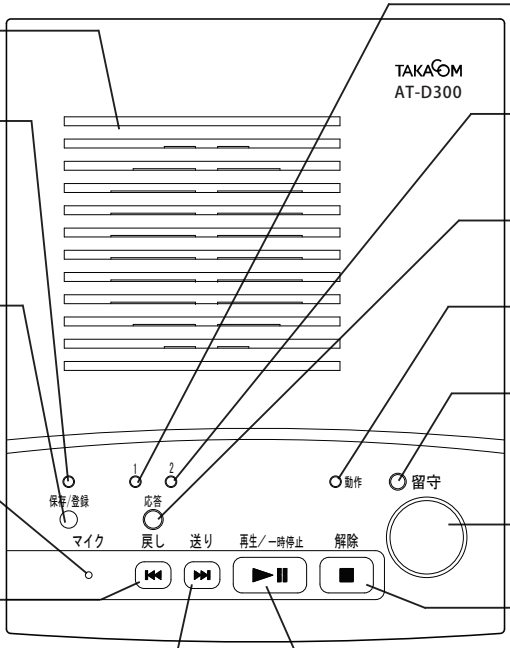
● 約3時間以上停電があると、時計の曜日・時刻は消えます。通電後、曜日・時刻を合わせてください。（→P 7）
（録音内容や暗証番号などの登録内容は停電しても消えることはありません。）

■登録時のお願い

● 時計・暗証番号等の登録操作中、約2分間、何もしないと、自動的に解除状態になります。このときは、最初から登録をやり直してください。

各部の名前とはたらき

■正面



● スピーカ
録音内容などを拡声します。

● 保存／登録ランプ
保存された用件メッセージの再生中に点灯します。また、登録中に点滅します。

● 保存／登録ボタン
用件メッセージ再生中のメッセージ保存、保存解除や登録をするとき押します。

● マイク
応答メッセージを録音するとき使用します。

● 戻しボタン
用件メッセージの巻戻しや登録などのとき押します。

● 送りボタン
用件メッセージの早送りや登録などのとき押します。

● 応答ランプ1
応答メッセージ1が選択されているとき点灯または点滅します。

● 応答ランプ2
応答メッセージ2が選択されているとき点灯または点滅します。

● 応答ボタン
応答メッセージの選択・録音・確認のとき押します。

● 動作ランプ
動作中やベル受信しているとき点灯または点滅します。

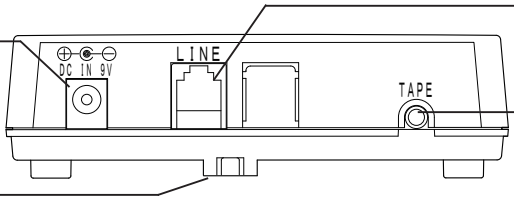
● 留守ランプ
留守セットされると点灯します。また、用件メッセージが録音されると点滅します。

● 留守ボタン
留守セットするとき押します。

● 解除ボタン
動作を解除するとき押します。

● 再生 / 一時停止ボタン
用件メッセージの再生や一時停止をするとき、また登録内容の確認などのとき押します。

■後面



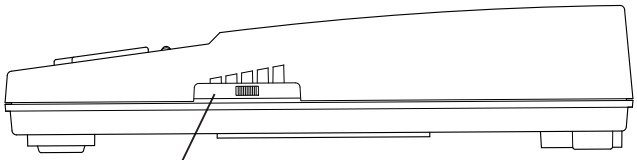
● 電源アダプタ用ジャック
電源アダプタを接続するジャックです。

● コード止め溝
電源アダプタのコードを止める溝です。

● 回線用モジュラージャック
電話回線を接続するモジュラージャックです。

● テープジャック
テープレコーダーから応答メッセージを録音するとき使用します。

■右側面



● ボリューム
スピーカから聞こえる音量を調節するとき使用します。

留守番電話の準備をする

応答メッセージを録音する

◎ ご使用の前に、応答メッセージを録音します。

■応答メッセージを録音する。

1

(応答) をくり返し押して、応答メッセージの番号を選ぶ

・選んだ応答メッセージのランプが点灯または点滅します。

2

(応答) を押し続ける（2秒間）

・動作ランプが点灯し、「ピピピ･･･ピー」と鳴ります。
・応答ランプが点滅します。

3

「ピピピー」が鳴り終ったらマイクに向かって録音を始める

・応答ランプが点灯します。

4

録音が終わったらもう一度 (応答) を押す

・今録音したメッセージが聞こえます。

■テープレコーダから録音するとき

1 あらかじめテープレコーダへ応答メッセージを録音しておきます。
2 テープレコーダを再生し、応答メッセージの冒頭で一時停止しておきます。
3 テープレコーダ接続コード（市販品を使用してください。）で、テープレコーダの出力（イヤホンジャック等）と本機後面の「テープジャック」を接続します。
4 左記「応答メッセージを録音する」の手順３で、「ピピ･･･」と鳴り終ったら、テープレコーダを再生させます。
・スピーカから録音中のメッセージが聞こえます。
・マイクとのミキシング録音はできません。
5 録音が終わったら手順４へ進みます。

■応答メッセージを確認する。

1 (応答) を繰り返し押して、応答メッセージの番号を選ぶ
・選んだ応答メッセージのランプが点灯します。
2 (留守) を押す
・現在時刻が拡声され、「ピピ･･･ピー」と鳴って留守ランプが点灯します。
3 (応答) を押す
・動作ランプが点灯し、応答メッセージが再生されます。

ワンポイント

- 応答メッセージが２種類録音できます。
- 手順１で応答を押すと次のように応答メッセージが切替わります。
  応答メッセージ１→応答メッセージ２→固定メッセージ→応答メツセージ１→ ･･･
- 手順１で選択したメッセージが録音済の場合は、応答メッセージのランプが点灯します。
- 応答メッセージ１／２の録音時間はそれぞれ最大５分です。
- 録音のやり直しは手順１から行ってください。
- 録音は、マイクから２０～３０ｃｍの位置で行ってください。
- 「応答メッセージを録音する」の手順４で (解除) を押すと録音した応答メッセージを自動再生せずに待機状態にもどります。
- 固定メッセージには、用件録音と応答専用の２種類があり、機能登録の応答モードの設定(→ P14)により自動的に選択され、録音の必要はありません。
- 固定メッセージを選択した場合は、応答ランプ１／２は点灯しません。
- 応答メッセージの再生音量は、ボリュームで調節できます。

時計を合わせる

◎ 内蔵の時計に、現在の曜日と時刻を登録します。時計を登録すると、用件が録音された曜日と時刻（タイムスタンプ）を合成音で拡声することができます。

■登録のしかた

1

保存／登録 を押す
- 「機能登録を行います」とスピーカから拡声されます。
- 保存／登録ランプが点滅、動作ランプが点灯します。

2

戻し または 送り で、現在時刻の登録を選択する
- 「現在時刻を登録します」とスピーカから拡声されます。

3

保存／登録 を押す

4

「曜日」の登録
戻し または 送り で、現在の曜日を選ぶ

5

保存／登録 を押す

6

「午前・午後」の登録
戻し または 送り で、午前か午後を選ぶ

7

保存／登録 を押す

8

「時」の登録
戻し または 送り で、現在の時を選ぶ

9

保存／登録 を押す

10

「分」の登録
戻し または 送り で、現在の分を選ぶ

11

保存／登録 を押す
- 「現在時刻は×曜日午前（午後）××時××分です」とスピーカから拡声されます。
- 保存／登録ランプ、動作ランプが消灯します。

■時刻を修正する

→手順１からやり直す

■時刻を正確に合わせる

→手順10のとき現在時刻の１分後を選び、ちょうど０秒になったとき手順 11 を行う

■曜日と時刻を確認する

→手順１，２の順にボタンを押し
再生／一時停止 を押す（現在時刻がスピーカから拡声されます）

■曜日・時刻を消去する

→手順１，２のあと 留守 を２秒以上押し、「ピー」と鳴ったら手を離す
（「現在時刻を消去しました」とスピーカから拡声されます）

■途中で登録をやめるとき

→ 解除 を押す
今回の登録は、無効になります。

ワンポイント

- 約３時間以上停電があると、時計の登録は消去されます。通電後、手順１から登録をし直してください。
- 登録に際しては、「曜日」「午前・午後」「時・分」が合成音で拡声されます。

留守セットをする

◎ 相手の用件を録音する「用件録音」と、相手の用件を録音しない「応答専用」の２とおりの使いかたができます。

留守セットをする

1

(応答) を繰り返し押して、応答メッセージの番号を選ぶ

・選んだ応答メッセージのランプが点灯します。

2

(留守) を押す

・現在時刻が拡声され、「ピピ‥ピー」と鳴って留守ランプが点灯します。

留守セットを解除する

1

(解除) を押す

・「応答専用」の場合は留守ランプが消灯します。
・用件メッセージが録音されているときは、留守ランプが点滅します。

ワンポイント

- (留守) を押すと再生ずみ用件メッセージを消去してから留守セットします。
- 再生ずみ用件メッセージを消去せずに留守セットしたいときは手順２で現在時刻「ピピ・・・」中に (保存／登録) を押します。
- (留守) を押しても、「用件メッセージの残り時間がありません」に続き「ピピ・・・」と鳴って留守セットができないときは、用件録音のメモリ残量が少なくなっています。
- メモリ残量を大きくするためには
  - ・未再生メッセージを再生してください。
  - ・保存指定したメッセージを解除してください。
- (留守) を押しても「用件メッセージが８０件です」に続き「ピピ・・・」と鳴って留守セットができないときは、用件録音の件数が満杯になっています。このときは、未再生メッセージを再生してから留守セットしてください。
- 選択した応答メッセージのランプが点滅しているとき（該当の応答メッセージが録音されていないとき）は、留守セットができません。「応答メッセージを確認してください」が拡声されます。
- 留守ランプが点灯又は点滅中に (応答) を押すと、着信応答するメッセージが確認できます。
- 留守ランプが点灯又は点滅中に (留守) を押すと、録音件数と録音残容量の確認ができます。（「用件録音」のときのみ）
- 応答モードを用件録音か応答専用のどちらかに変更することができます。(→ P14)
  お買い上げ時は用件録音にセットされています。

■留守中動作

1 着信音が１回鳴ると、本機が応答する。
- ●着信音にあわせて動作ランプが点滅します。

2 相手に応答メッセージが聞こえる。
- ●スピーカからも応答メッセージが聞こえます。
- ●応答専用メッセージのときは、応答メッセージ送出後電話が切れます。

3 「ピー」音の後、相手の用件を録音する。
- ●用件メッセージが録音されると留守ランプが点滅します。
- ●スピーカから相手の声が聞こえます。
- ●用件の録音が終わると、電話が切れます。

留守機能の変更ができます

- ● 留守応答するまでの着信ベル回数を１～９回に変更できます。（→P14）
  - ・お買い上げ時は、着信ベル回数１回で応答します。
- ● 用件録音の制限時間を変更できます。（→P１４）
  - ・お買い上げ時は、１件あたり３分間（内蔵ＩＣメモリ残量以内で）録音できます。
  - ・１件あたり１分または無制限に変更できます。

居留守応答するには

- ● 手順３のとき、並列接続されている電話機で応答します。本機の留守番動作は停止し、相手と直接通話ができます。ただし、ビジネスホンに設置の場合、電話機で応答できないことがあります。
- ● 相手の声は、ボリュームで調節できます。

用件録音について

- ● 用件は、本機内蔵のＩＣメモリに最大約３０分間または総録音件数８０件まで録音できます。
  ＩＣメモリは、応答メッセージのメモリも共有していますので、応答メッセージの録音時間は差し引かれます。
- ● フラッシュメモリを採用していますので、停電になっても録音内容が消えることはありません。

留守解除時刻について

- ● 設定した時刻（→P14）になったとき、「留守を解除する時刻になりました」「ピピピ･･･ピピピ」と警告音を鳴らすことができます。ただし、実際の留守解除はしません。

用件を再生する

◎ 留守中に用件が録音されているときは、留守ランプが点滅します。

用件を再生する

1

解除 を押す

2

再生／一時停止 を押す

- 用件メッセージの再生が始まります。
- すべての用件の再生が終わると、「ピピ・・・ピ」と鳴って再生が終了します。

ワンポイント

- 未再生の用件メッセージをすべて再生した後、再度、再生した場合、最も古いメッセージの冒頭から再生します。
- 用件メッセージの再生中に 保存／登録 を押すと、その用件メッセージを保存指定します。
  留守で自動消去しません。
- 保存したメッセージを再生中は、保存／登録ランプが点灯します。
- 保存したメッセージの指定を解除するときは、保存指定したメッセージの再生中に 保存／登録 を押します。
  保存／登録ランプが消灯します。
- 留守セットのまま 再生／一時停止 を押すと、用件を一時再生します。再生後留守セットを継続します。この場合は、再生ずみメッセージにはなりません。
  再生を停止するには、留守 を押します。
- 再生音量は、ボリュームで調節できます。
- 用件が録音されていなくても、録音件数に加算される場合があります。

次の操作は、再生中のみ有効です。

■巻き戻しをする

戻し を押す

- 1 回押すと、現在の用件の頭へ戻って再生します。(リピート再生)
- 2 回押すと、一つ前の用件の頭へ戻って再生します。(バック再生)
- 押し続けると、その用件の中で巻き戻しします。

■早送りする

送り を押す

- 1 回押すと、次の用件の頭へスキップして再生します。(スキップ再生)
- 押し続けると、その用件の中で早送りします。

■再生を一時停止する

再生／一時停止 を押す

- 再生が一時停止し、動作ランプが点滅します。
- もう一度再生を押すと、再生が再開します。
  - 一時停止してから約 1 分間何も操作しないと自動的に再生が再開されます。

リモコン再生をする

暗証番号を登録する

◎ リモコン再生をする前に暗証番号を登録してください。
◎ 暗証番号は、４桁の任意の番号が設定できます。

■登録のしかた

1

保存／登録 を押す
- 「機能登録を行います」とスピーカから拡声されます。
- 保存／登録ランプが点滅し、動作ランプが点灯します。

2

戻し または 送り で、暗証番号の登録を選択する
- 「暗証番号を登録します」とスピーカから拡声されます。

3

保存／登録 を押す

4

1桁目の登録
戻し または 送り で、１桁目の暗証番号を選ぶ

5

保存／登録 を押す
- １桁目が登録されました。

6

２～３桁目の登録
手順４および手順５と同じ方法で２～３桁の暗証番号を登録する

7

４桁目（最終桁）の登録
戻し または 送り で、４桁目の暗証番号を選ぶ

8

保存／登録 を押す
- 「暗証番号は××××です」とスピーカから拡声されます。
- 保存／登録ランプ、動作ランプが消灯します。

■暗証番号を確認する

→手順１，２のあと 再生／一時停止 を押す。
（登録済みの暗証番号がスピーカから拡声されます）解除 を押す。

■暗証番号を消去する

→手順１，２のあと 留守 を約２秒間押しつづけ「ピー」と鳴ったら手を離します。
（「暗証番号を消去しました」とスピーカから拡声されます）

■暗証番号を変更する

→手順１から新しい暗証番号を登録する。

■途中で登録をやめるとき

→ 解除 を押す。
今回の登録は無効になります。

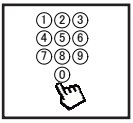
ワンポイント

● 登録に際しては、「暗証番号の数字」が合成音で拡声されます。

リモコン再生をする

1

本機へ電話をかける

2 

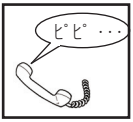
《応答メッセージ再生中又は用件録音中に》
暗証番号を押す

・暗証番号を受け付けると「ピー」という信号音が聞こえます。

3

用件の録音件数に続いて用件が再生される

・再生中は、頭出しやスキップ再生などができます。(→P 13)

4 

すべての用件を聞き終わると「ピピ･･･」という再生終了音が聞こえる

■暗証番号を受け付けしないとき

→暗証番号を押し直す

■用件が録音されていないとき

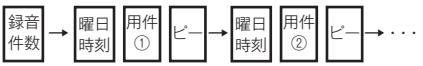
→手順3で、「新しいメッセージはありません」「ピピ･･･」と聞こえる

ワンポイント

- リモコン操作は、プッシュ信号の出る電話機から行ってください。
- 暗証番号は、ゆっくり確実に押してください。間違った暗証番号を16回押すと電話が切れます。
- 携帯電話のときは、リモコン信号が受け付けされない場合があります。
- 再生終了音「ピピ･･･」を聞いてから、電話を切ってください。

再生の順序

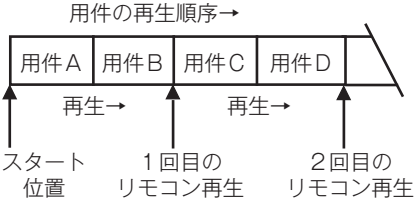
- 再生は次のような順序で進みます。



- 再生終了音のあと、１０秒間何もしないと電話が切れます。

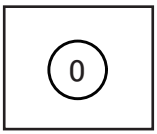
「ピピ･･･」(再生終了音) → １０秒間の無音

２回目にリモコン再生したとき



- ２回目のリモコン再生したときは、新しい録音件数と用件C，Dが聞こえます。
  毎回あたらしく録音された用件が聞こえます。
- ２回目のリモコン再生で用件A，Bを聞きたいときは、ダイヤル2を押します。

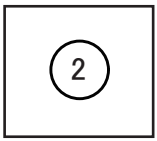
■リピート再生をする（再生中のみ有効です）



ダイヤル 0 を押す

・その用件の頭へ戻って再生します。

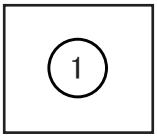
■頭出し再生をする（再生中および再生終了音のあと有効です）



ダイヤル 2 を押す

・留守セット後に録音されたメッセージ（未再生メッセージも含む）を再生します。
・再生終了音のあとに押しても、頭出し再生をします。

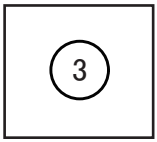
■バック再生をする（再生中および再生終了音のあと有効です）



ダイヤル 1 を押す

・一つ前の用件の頭へ戻って再生します。
・再生終了音のあとに押しても、バック再生をします。

■スキップ再生をする（再生中のみ有効です）



ダイヤル 3 を押す

・次の用件の頭へスキップして再生します。

■リモコン操作早見表

コピーしてご利用ください。

《リモコン操作方法》

1 本機に電話をかける。
2 応答メッセージが再生中又は用件録音中に暗証番号を押す。
　・件数に続いて、用件が聞こえます。
3 用件を再生中 ･･･

リピート再生	→	0
バック再生	→	1
頭出し再生	→	2
スキップ再生	→	3

　・すべての用件を聞き終えると､再生終了音「ピピ ･･･」が聞こえます。
4 操作を終わるときは、電話を切る。

機能の設定を変える

◎ 留守応答するまでの着信ベル回数や用件録音制限時間などの設定を用途に応じて変更（登録）することができます。

■機能の設定変更のしかた

（例：留守応答までの着信ベル回数を１→３に変える）

1 保存／登録 を押す
- 「機能登録を行います」と拡声されます。

2 戻し または 送り を押し、登録項目を選択する
- 例では、「着信ベル回数」を選ぶ
- 「着信ベル回数を登録します」と拡声されます。

3 保存／登録 を押す
- 現在の登録内容が拡声されます。
- 例では「１回」と拡声されます。

4 戻し または 送り を押し、登録内容を選択する
- 例では「３回」を選ぶ

5 保存／登録 を押す
- 登録した内容が拡声されます。
- 例では、「着信ベル回数は３回です」と拡声されます。

■機能の設定内容を確認する

→上記手順１，２のあと 再生／一時停止 を押すと登録値が拡声されます。

■登録値を消去する

→現在時刻、留守解除時刻、暗証番号の項目選択中に上記手順２のあと 留守 を約２秒以上押すと登録が消去できます。

項　目	機能内容
①現在時刻	曜日　月～日
	午前、午後
	0 ～ 11 時
	0 ～ 59 分
②留守解除時刻	午前、午後
	0 ～ 11 時
	0 ～ 59 分
③着信ベル回数	○　１回
	２回
	３回
	４回
	５回
	６回
	７回
	８回
	９回
④暗証番号	0000 ～ 9999
⑤用件録音制限時間	１分
	○　３分
	無制限
⑥応答モード	○　用件録音
	応答専用

○印は、お買い上げ時の設定内容です。

■登録項目および登録内容の音声

登録項目	登録項目の音声	登録内容の音声
①現在時刻	現在時刻を登録します	現在時刻は×曜日午前（午後）××時××分です
②留守解除時刻	留守解除時刻を登録します	留守解除時刻は午前（午後）××時××分です
③着信ベル回数	着信ベル回数を登録します	着信ベル回数は×回です
④暗証番号	暗証番号を登録します	暗証番号は××××です
⑤用件録音制限時間	用件録音の制限時間を登録します	用件録音の制限時間は３分（無制限・１分）です
⑥応答モード	応答モードを登録します	応答モードは用件録音（応答専用）です

■参考資料

構内交換機（PBX）の内線接続などで、ベル信号で留守番動作しない場合の設定

内線ベルの鳴り方が違うため本機が留守番動作しない場合は、次の設定変更で正常に動作する場合があります。

●機能の設定変更のしかた

1 (保存／登録) を２秒以上押し続ける
- ・「詳細機能登録を行います」と拡声されます。

2 (戻し) または (送り) を押し、登録項目を選択する
- ・ボタンを押すごとに、登録項目が拡声されます。
- ・ここでは、(送り) を１回押します。
- ・「登録 1」と拡声されます。

3 (保存／登録) を押す
- ・現在の登録内容が拡声されます。
- ・お買い上げ時は「０」と拡声されます。

4 (戻し) または (送り) を押し、登録内容を選択する
- ・ボタンを押すごとに、登録内容が拡声されます。
- ・ここでは、(送り) を１回、または２回押して、「1」または「２」を選びます。
- ・「1」または「2」と拡声されます。

5 (保存／登録) を押す
- ・登録した内容が拡声されます。
- ・「登録１は１です」または「登録１は２です」と拡声されます。

【登録 1 の設定内容】

項目	内容	登録値	設定内容	工場出荷時設定
登録 1	ベル信号の時間	0	ON ：600msec 以上 OFF：800msec 以上	○
		1	ON ：100msec 以上 OFF：800msec 以上	
		2	ON ：100msec 以上 OFF：100msec 以上	

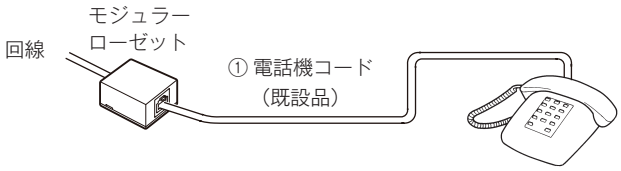
ワンポイント

● 登録値を「1」に変更しても正常に動作しない場合は、登録値を「2」に変更してご確認ください。

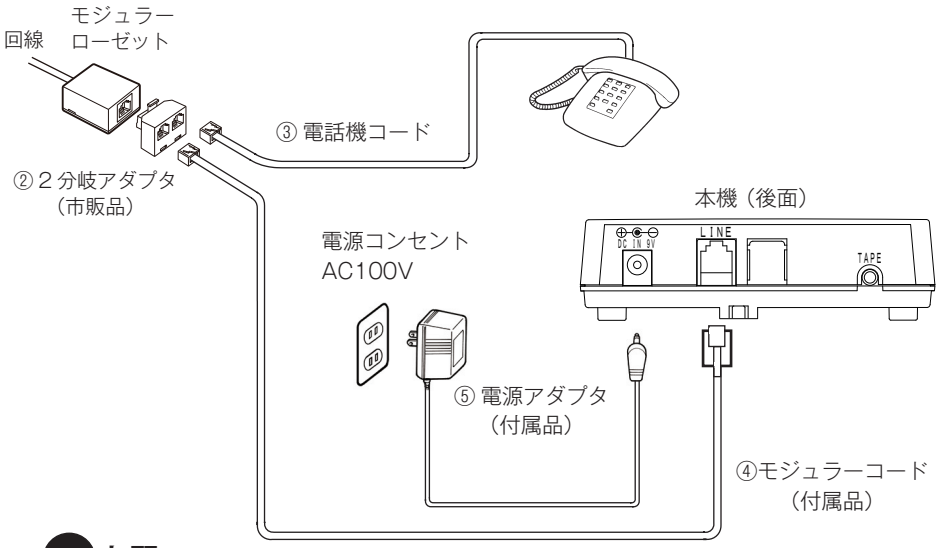
電話回線／電源を接続する

① 電話機コードをモジュラーローゼットから抜きます。
② 2 分岐アダプタ（市販品）をモジュラーローゼットに取り付けます。
③ 電話機コードを 2 分岐アダプタのモジュラージャックに差し込みます。
④ 添付のモジュラーコードを本体の電話回線用モジュラージャック《ＬＩＮＥ》に差し込み、もう一方を 2 分岐アダプタのモジュラージャックに差し込みます。
⑤ 添付の電源アダプタを本体の電源アダプタ用ジャックと電源コンセント（ＡＣ１００Ｖ）に差し込みます。

取付前



取付後



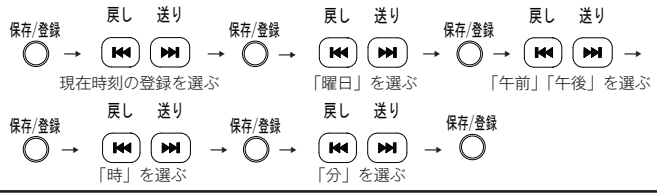
STOP お願い

- モジュラーコードを差し込むときは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- モジュラーコードを引き抜くときは、レバーを押さえながら引き抜いてください。

操作早見表

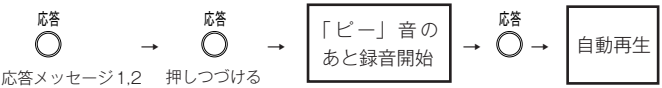
時計合わせ

時計合わせ (→P 7)



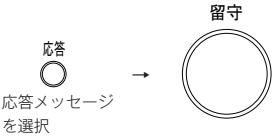
応答メッセージ

応答メッセージの録音 (→P.6)



留守セット

留守セット (→P.8)



※ 用件を消去せずに留守セットするときは、現在時刻・「ピピピ・・・」中に [保存／登録] を押す

※ 留守解除は、[解除] を押す

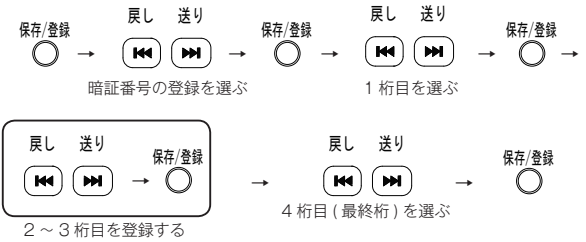
用件の再生

用件の再生 (→P.10)

再生中にできる操作 (→P.10)

リモコン

暗証番号の登録 (→P.11)



故障とお考えになる前に

動　作	こんなときは	お確かめください	参照ページ
電源	時計が消去された	約３時間以上停電がありませんでしたか？ 再登録をしてください	P.7
応答メッセージ	選択した応答メッセージランプが点滅している	選択した応答メッセージには、応答メッセージが録音されていません 応答メッセージを録音してください	P.6
留守セット	留守セットができない	応答メッセージのランプが点滅していませんか？ 応答メッセージが録音されていません 応答メッセージを録音してください	P.6
		用件総録音件数が 80 件もしくはメモリ残量が少なくなっていませんか？ 未再生メッセージを再生してください	P.8
留守番動作	ベル着信で留守番動作しない	構内交換機の内線などに接続していませんか？ ベル信号の違いなどのため着信動作しない場合があります。詳細機能登録を変更してみてください。	P.15
用件	再生音がでない	ボリュームが最小になっていませんか？	P.10
	用件録音ができない	応答モードが「応答専用」になっていませんか？	P.14
リモコン操作	リモコン操作ができない	リモコン暗証番号は登録してありますか？	P.11
		リモコン暗証番号は合っていますか？	P.11
		ダイヤル式の電話機からリモコン操作をしていませんか？	P.12

主な仕様

項　　目	仕　　様
回線種別	アナログ一般回線
回線直流抵抗値	約 275 Ω
応答メッセージ	応答1，2それぞれ最大5分
用件メッセージ	最大約 30 分／ 80 件
メモリ容量	応答、用件メッセージを合わせて 30 分
時計精度	月差1分以内（通電時　25℃）
ＡＣ電源	AC100V ± 10V（50/60Hz）
ＤＣ電源	DC 9Ｖ（専用電源アダプタ）
消費電力	最大5Ｗ
寸法（突起部を含みません）	幅 112mm ×奥行き 140mm ×高さ 28mm
質量	約 230g

アフターサービスについて

- 本書は、下記記載の保証条件で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発着信・通話録音などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書		
型名／保証期間		リモートホン　ＡＴ－Ｄ３００／お買い上げ日から１年間
お買い上げ日		年　　月　　日
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	名称	
	所在地	〒
	電話番号	

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無料修理いたします。

2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。

3 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。
- ① 保証書の提示がない場合
- ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
- ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
- ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
- ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
- ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
- ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
- ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
- ⑨ 消耗品を交換した場合

4 この保証書は、日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

5 この保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター　0570-03-8811

受付時間：月～金 9：00～17：30　<土･日曜日、祝日、当社指定休日除く>

修理に関するご相談

●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社ホームページ http://www.takacom.co.jp
「サポート修理センターご案内」をご覧ください。　株式会社タカコム　検索

株式会社タカコム　本社・工場／〒509-5202　岐阜県土岐市下石町西山304-709

P1E003000805R　Apr.2012